お湯の魅力でお客さま満足度も向上

この特集は「観光経済ドットコム」でもご覧いただけます

全国の「風呂じまんの宿」31軒を紹介

長野県・湯田中温泉　一茶のこみち美湯の宿

正真正銘の源泉100％掛け流し

長野県・湯田中温泉の老舗旅館、一茶のこみち美湯の宿（斉須正男社長）の温泉は三つの源泉をブレンドしたお湯が特徴で、正真正銘、加水・加温なしの源泉掛け流し100％の温泉だ。

湯守が1日中湯量や温度などの調整・管理を行っている。県が独自に定める温泉規格にも初めて認定されており、今でも厳正に基準が守られ続けている。

内風呂の一部はジャグジーになっており、人体へのマッサージ効果だけでなく、お湯を柔らかくする「湯もみ」の効果も高めている。

SDGsを意識した取り組みも行っている。60～90度の源泉を熱交換器に通すとお湯が適温になることを利用し、水で薄める必要がなく、源泉100％掛け流しを実現。この熱交換器を使って温泉熱利用システムも1990年から導入した。源泉の熱で水を温め、給湯や館内暖房に再利用している。

▽長野県下高井郡山ノ内町平穏2951の1。☎0269（33）4126。https://yudanakaview.co.jp/

ジャグジーの内風呂

岐阜県・下呂温泉　水明館

三つの館で美人の湯堪能

日本三名泉の一つ、下呂温泉。飛騨川沿いの温泉リゾート旅館、水明館（瀧康洋社長）には、臨川閣、山水閣、飛泉閣の各館に大浴場がある。宿泊者は全大浴場を利用可能。なめらかな湯ざわりの美人の湯が評判だ。

臨川閣の「下留の湯」では、日本庭園が望める檜（ひのき）風呂を用意。天井、壁、柱にも檜が配され、木の香りが漂う。サウナルームも完備する。

山水閣には、樹木の緑と巨岩に囲まれた野天風呂がある。「龍神の湯」（男性用）、「観音の湯」（女性用）から飛騨の星空を楽しみたい。内湯も備える。

飛泉閣9階の「展望大浴場」は、一面ガラス張りの窓から温泉街や飛騨の山々が一望できる。

臨川閣には貸し切り風呂と岩盤浴もある。岩盤浴では麦飯石、溶岩石など天然鉱石が使われ、癒やしを体感したい。

全大浴場の混雑状況を客室内のテレビや館内各所のモニターで確認できるので、「湯めぐりをするお客さまから大変喜ばれている」（同館）。

▽岐阜県下呂市幸田1268。☎0576（25）2800。https://www.suimeikan.co.jp/

下留の湯

愛知県・三谷温泉　平野屋Ryokan&Sauna

サウナに世界的デザイン賞

創業90年の歴史を持つ旅館、平野屋（平野寛幸社長）が、2023年4月にオープンした「平野屋サウナ」が世界的なデザイン賞「iFデザインアワード2024」を受賞した。

「半分自然、半分人工の借景を見ながら、心と体をととのえる空間」をコンセプトにデザインされ、アート作品も配置されている。

「洞窟サウナ」「ラウンジサウナ」は本格的なフィンランドサウナで、遠赤外線効果が高いストーンを使い、セルフロウリュも楽しめる。二つの貸し切りサウナは、サウナルームの温度や照明を自由に設定できるほか、ブルートゥーススピーカーで好きな音楽も流せる。

平野社長は、サウナで〝心身がととのう〟ように、「旅館という空間を通して自分を内観する時間を提供したい」と語る。

美人の湯とされる三谷温泉を庭園露天風呂に注ぐ。洞窟風呂、御影石を配した内湯もある。客室は70室で、2024年2月には半露天風呂付き客室3室がオープンした。

▽愛知県蒲郡市三谷町南山1の21。☎0533（68）5161。https://www.hotel-hiranoya.co.jp/

「ｉＦデザインアワード」受賞のサウナ

静岡県・稲取温泉　稲取銀水荘

海岸線を望む絶景露天

稲取銀水荘（加藤晃太社長）は、敷地内の自家源泉から毎分200㍑の豊富な湯量が湧出している。無色透明な弱アルカリ性のナトリウム・カルシウム―塩化物泉で、保温性が高く、入浴後も体がぽかぽかすると評判だ。

豊富な湯が注がれる大浴場は開放的で、サウナも設置されている。大浴場に隣接したオーシャンビューの展望露天風呂は、相模灘、伊豆平島の海岸線を望む絶景が魅力的。2022年12月に寝湯を新設し、今まで以上に快適に過ごせるようになった。

プライベートな時間を満喫するには、全17室の展望露天風呂付き客室がおすすめだ。客室により、十和田石や陶器など大きさはさまざま。いずれも自家源泉を使用した、源泉掛け流しの露天風呂で、眼の前に広がる相模灘を眺めながら、ゆっくりとしたひとときを過ごすことができる。

稲取銀水荘は自家源泉の湯をはじめ、自慢の料理、稲取の自然や文化を生かしたおもてなしを深化させ、訪れる人たちを迎えている。

▽静岡県賀茂郡東伊豆町稲取1624の1。☎0557（95）2211。https://www.inatori-ginsuiso.co.jp/

寝湯を新設した展望露天風呂

三重県・鳥羽温泉郷　鳥羽シーサイドホテル

鳥羽湾を望む湯巡り

鳥羽シーサイドホテル（藪本竜太郎社長）は、「湯めぐり海百景」をうたう温泉リゾートホテルだ。3種類の趣の異なる大浴場からは、時間ごとに移りゆく鳥羽湾の景色を楽しめる。

望館6階の「風見の湯」は、開放感あふれる露天風呂が人気。湯船は岩風呂、檜（ひのき）風呂、つぼ風呂。

「岬の湯」は岬亭1階にあり、露天風呂につかれば潮騒と波の音につつまれる。湯上がり処のウッドデッキも心地よい。

汀（みぎわ）館3階の「汀の湯」は、ジャグジー、サウナ、寝湯など、心身を癒やすスパ施設を完備。湯上がりサロンには無料で使えるマッサージ機器を用意している。

この他、バリアフリータイプを含めて海を望む五つの貸し切り家族風呂と足湯がある。

客室数は、露天風呂付き客室を含めて和室、和洋室など計206室。約50種のメニューがそろう和洋バイキングと、鳥羽の海の幸が満載の会席料理が人気だ。

▽三重県鳥羽市安楽島町1084。☎0599（25）5151。https://www.tobaseasidehotel.co.jp/

「風見の湯」夕景

富山県・金太郎温泉　金太郎温泉

施設改修で高品質旅館へ

金太郎温泉は、第37回「にっぽんの温泉100選」で94位に入選。1965年、掘削により地下約千㍍から湧き出した含硫黄―ナトリウム・カルシウム―塩化物泉で、食塩泉と硫黄泉が混合した泉質は国内でも珍しい。75度前後の高温の湯で、成分の濃さと効能には定評がある。

数々の施設改修に取り組んできた「金太郎温泉　光風閣」（木下荘司社長）は、「人気温泉旅館ホテル250選」に通算5回以上入選している「5つ星の宿」の一つ。今年は「Dining瑞兆」の改修を行い、プライベートな空間で一品ずつこだわった会席料理を楽しめるほか、客室はグループ利用にも対応し高品質化を実現。温泉旅館としての魅力をさらに向上させた。

「金太郎温泉　日帰り温泉カルナの館」には、全国から集めた銘石、奇石を使った「立山連峰パノラマ大浴殿」や「庭園大露天風呂」がある。創業者が発案した秘伝の入浴法もあり、ぜひ宿泊してお試しいただきたい。

▽富山県魚津市天神野新6000。☎0765（24）1220。https://www.kintarouonsen.co.jp/

「カルナの館」の庭園大露天風呂

福井県・あわら温泉　まつや千千

北陸最大級の源泉露天風呂

まつや千千（伊藤和幸社長）は、湯が満ちあふれ、思わず笑みがこぼれる「千のこぼれ湯」と名付けた源泉露天風呂が自慢だ。北陸最大級と称される浴場施設で、趣の異なる多彩な風呂で湯めぐりが楽しめる。

男性用の「万万の湯」は、つぼ湯、寝湯などバラエティ豊かな露天風呂と開放的な大浴場。女性用の「百百の湯」には、かめ湯、ジャグジー風呂など、七湯めぐりを楽しめる露天風呂や大浴場。岩盤浴と同じ効果があるヒーリングサウナもある。また、女性専用のエステサロンでは、アロマオイルやバリの漢方を用いた本格的な施術が受けられる。

客室数は118室。標準タイプの客室がそろう「ゆうゆう館」、少しぜいたくに過ごせる「せんせん館」、特別フロアの「時忘れ離座」の3タイプ。

このうち特別フロア「時忘れ離座」は、9室全ての客室に源泉露天風呂を備えている。料理も専用の食事処で、食材を厳選した離座オリジナル懐石を提供している。

▽福井県あわら市舟津31の24。☎0776（77）2560。https://matuyasensen.co.jp/

女性の露天風呂

和歌山県・南紀勝浦温泉　ホテル浦島

天然の洞窟の中に温泉が湧出

三方が海に面した岬に建つ和歌山県南紀勝浦温泉のホテル浦島（松下哲也社長）は、本館、山上館、日昇館、なぎさ館という四つの建物に五つの大浴場があり、1日の滞在ではとても回り切れないほどだ。

大洞窟風呂「忘帰洞」は、天然の洞窟の中に温泉が湧出し、熱い湯だまりとなったもので、古くから沐浴場として利用されてきた。大正時代に旅館営業が始まってから、この地を訪れた紀州徳川家15代当主の徳川頼倫公が「帰るのを忘れさせるほど心地良い」と言い、この名が付いた。海が間近に迫る絶景も自慢だ。

館内にはもう一つの天然洞窟風呂「玄武洞」に加え、「滝の湯」「ハマユウの湯」「磯の湯」もある。

食事は7月、バイキングレストランで提供するメニューを「熊野cuisine（キュイジーヌ）」としてリニューアル。熊野地方や熊野灘など、地元で生産された食材を中心に約60種類を提供する。

▽和歌山県東牟婁郡那智勝浦町勝浦1165の2。☎0735（52）1011。https://urashimaresortsandspa.jp/wakayama-hotelurashima/

忘帰洞